

保護者様

組氏名

園名

### 感染症（インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症）による出席停止のお知らせ

お子様は、感染症（インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症）の診断を受け出席停止となったため、下記「感染症経過報告書」を記入し、登園時にこども園へ提出してください。

○印	感染症名	出席停止の期間の基準
	インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで。
	新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快後1日を経過するまで。

（保護者記入）

### 感染症経過報告書

インフルエンザ

発症した日を0日として、翌日を1日目として数え5日間（計6日間）経過するまで登園できません。かつ、解熱した日を0日目とし、解熱後3日間（計4日間）経過しないと登園できません。

新型コロナウイルス感染症

発症した日を0日として、翌日を1日目として数え5日間（計6日間）経過するまで登園できません。かつ、症状が軽快した日を0日目とし、症状が軽快して過ごせた日を1日間（計2日間）経過しないと登園できません。

（症状が軽快とは、解熱剤を使用せずに解熱し、かつ、呼吸器症状が改善傾向にあることを指します。）

※無症状の感染者に対する期間は、検体を採取した日から5日を経過するまでを基準とします。

出席停止期間中、気になる症状等がある場合は、再度かかりつけ医へ受診してください。

●発症した日 令和 年 月 日（発症0日）

●診断日 令和 年 月 日

発症日から	月日	午前測定時刻	体温	午後測定時刻	体温	呼吸器症状
0日目	月 日	午前 時 分	、℃	午後 時 分	、℃	有・改善・無
1日目	月 日	午前 時 分	、℃	午後 時 分	、℃	有・改善・無
2日目	月 日	午前 時 分	、℃	午後 時 分	、℃	有・改善・無
3日目	月 日	午前 時 分	、℃	午後 時 分	、℃	有・改善・無
4日目	月 日	午前 時 分	、℃	午後 時 分	、℃	有・改善・無
5日目	月 日	午前 時 分	、℃	午後 時 分	、℃	有・改善・無
6日目	月 日	午前 時 分	、℃	午後 時 分	、℃	有・改善・無
7日目	月 日	午前 時 分	、℃	午後 時 分	、℃	有・改善・無
8日目	月 日	午前 時 分	、℃	午後 時 分	、℃	有・改善・無
9日目	月 日	午前 時 分	、℃	午後 時 分	、℃	有・改善・無
10日目	月 日	午前 時 分	、℃	午後 時 分	、℃	有・改善・無

※○印

インフルエンザ 【 】 発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を

コロナウイルス 【 】 発症した後5日を経過し、かつ、症状軽快後1日を

経過したので登園させます。

令和 年 月 日

保護者氏名

# 意見書（医師記入）

園名 \_\_\_\_\_ 園長様 \_\_\_\_\_ クラス名： \_\_\_\_\_  
氏名： \_\_\_\_\_

(病名) (該当疾患に☑をお願いします)

	麻しん（はしか）※
	インフルエンザ、新型コロナウイルス
	風しん
	水痘（水ぼうそう）
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）
	結核
	咽頭結膜熱（プール熱）※
	流行性角結膜炎
	百日咳
	腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111 等）
	急性出血性結膜炎
	侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）

症状も回復し、集団生活に支障がない状態になりました。

年 月 日から登園可能と判断します。

年 月 日

医療機関名：

医師名：

※必ずしも治癒の確認は必要ありません。意見書は症状の改善が認められた段階で記入することが可能です。

★インフルエンザ・新型コロナウイルスに罹患した場合は、「インフルエンザ・新型コロナウイルス経過報告書」をご記入願います。

※保護者の皆さまへ

上記の感染症について、子どもの病状が回復し、かかりつけ医により集団生活に支障がないと判断され、登園を再開する際には、この「意見書」を園に提出してください。

感染症名、感染しやすい期間及び登園のめやす

感染症名	感染しやすい期間（※）	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過していること
インフルエンザ★	症状がある期間（発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染量が高い）	発症した後5日経過し、かつ解熱した後2日経過していること（乳幼児にあつては、3日経過していること）
風しん	発疹出現の7日前から7日後くらい	発疹が消失していること
水痘（水ぼうそう）	発しん出現1～2日前から痂皮（かさぶた）形成まで	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化していること
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっていること
結核	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等の症状が出現した数日間	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日経過していること
流行性角結膜炎	充血、目やに等の症状が出現した数日間	結膜炎の症状が消失していること
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失していること又は適正な抗菌性物質製剤による5日間の治療が終了していること
腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111等）	—	医師により感染の恐れがないと認められていること。（無症状病原体保有者の場合、トイレでの排泄習慣が確立している5歳以上の小児については出席停止の必要はなく、また、5歳未満の子どもについては、2回以上連続で便から菌が検出されなければ登園可能である。）
急性出血性結膜炎	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
侵襲性髄膜炎菌感染（髄膜炎菌性髄膜炎）	—	医師により感染の恐れがないと認められていること

※感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については（－）としています。

## 登園届（保護者記入）

※保護者の皆さまへ

登園のめやすを参考に、かかりつけ医の診断に従い、「登園届」の記入及び提出をお願いします。  
 なお、園での集団生活に適応できる状態に回復してから登園するようご配慮ください。

園名

園長様

クラス名： \_\_\_\_\_

氏名： \_\_\_\_\_

（該当疾患にをお願いします）

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間が経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑 (リンゴ病)	発疹出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス・ロタウイルス・アデノウイルス等)	症状のある間と、症状消失後1週間 (量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に1ヶ月程度ウイルスを排出しているため注意が必要）	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発疹が痂皮化していること
突発性発疹	—	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと
その他の感染症 ( )		

医療機関名： \_\_\_\_\_（ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日受診）において、病状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので、 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日より登園いたします。

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

保護者氏名： \_\_\_\_\_